

だいすきなじいじのはたけ

矢野^や 創太^{そうた}

ぼくには、あいちけんにすむじいじがいる。じいじは、やさいやくだものを、はたけでたくさん作っている。すごくそだてることが上手で、ぼくににとってははよくぶつの先生だ。家でそだてているアサガオのようすがおかしいときなども、しゃしんをおくってはなしをすると

「はっぱがきいろくなるのはしつけがおおいからだよ。」など、すぐにおしえてくれる。おかげでアサガオはふっかつした。

まいとし、なつやすみやふゆやすみなど、じいじのいえに行くとぼくはかならず

「はたけにつれてって！」
といつて、しゅうかくの手つだいをするのがとてもたのしみだ。なつには、スイカ、キュウリ、トマト、ナスなどいっぱいできている。ぼくとじいじは、いつもパケツにやまもりとつてかえって来る。ぼくの大好きなじいじだ。

しかし、ことしはコロナのえいきょうで、じいじのいえに

行けなかった。はたけでとれたやさいやくだものはなんともおくってもらった。そこでぼくは、とどいたものをダンボールにならべて、家のなかでやおやをひらいた。たとえば「大きいスイカいっこ2500円、中くらいスイカいっこ1000円」など、ねだんもつけた。ほんとうのおみせみたいに「へい！いらっしやい！」
とかげごえをかけた。

また、スイカわりをずっとしたかったので、とどいたものでやってみた。大きくておもしろいスイカをなんども力づよくぼうでたいた。でも、われなかったんだ！しょうがなくきってたべたら、あまくてすごいジューシーでおいしかった。手にたくさんしるをたらしながら、ぼくはじいじのいえのほうこうにむかって「ありがとう！」と大ごえでさげながら、ニコニコとほおばっていた。

らいねんは、ことしのぶんまでたくさん畑の手つだいをできるといいな。じいじいつもありがとう。